

第 1 回 森林整備と財源のあり方検討委員会

議事（概要）

1 出席者：

紙谷委員、駒宮委員、長谷川委員、矢島委員、磯田委員（代理出席）、
神田委員（代理出席）、高橋委員（代理出席）

2 主な意見等

主な意見	議論の視点
<ul style="list-style-type: none"> ・県内森林をどのように整備していくかという長期的視点と、当面どのような施策を行うかという短期的視点が必要。 	⇒ ・国、県森林計画の内容 (別途説明)
<ul style="list-style-type: none"> ・経済林や公益的機能林、レクリエーション利用など、森林の目的ごとに区分した検討が必要。 ・本県の経済林や公益的機能林の予算区分、他府県の超過課税について現状把握が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の区分の必要性 (経済的機能、公益的機能) ・森林の区分の考え方 ・整備が必要な森林の範囲
<ul style="list-style-type: none"> ・豊富な森林資源に対して木材需要が圧倒的に少ないため、木材利用を進めることが必要。 ・国産材や地域材へのニーズが高まる中で、下流側の視点も考慮すべき。 ・森林の果たす役割などについて一般県民へのPRが必要。 ・高齢化、担い手不足を抱える地域が活性化するような検討が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備以外の施策の必要性(木材利用促進、PR、担い手対策等)